

# 筋肉の動き 音に変換

## 筑波大 電池で動く小型装置

筑波大学の鈴木健嗣講師らは、筋肉の活動具合によって違った音を出す装置を開発した。筋肉の

使う。装置を付けた皮膚の表面の筋肉が伸縮したときに、出る筋電図を受信。筋肉が縮むと音が大きくなるほか、筋肉に乳酸が増えて疲労がたまる音程が低くなる。音を聞くだけで筋肉の状態がわかるという。

装置は小型で電池で駆動する。身につけて使えるため、スポーツ選手などが効率よくトレーニングできるようになる。また、首などの筋肉が緊張して起こる頭痛の防止にもつながるとしている。



開発した機器を腕に固定して運動すると、ヘッドホンから音が聞こえる